



《共通事項》

◆基肥の施用について

1. 施肥時期 10月中旬
2. 施肥量

品目	グリーン長野果樹専用 有機入り72 (10a当)	果樹の力 (10a当)	備考	実際施用日 記入
プルーン・すもも	5袋	1袋		月 日
梅・杏	4袋	1袋	※1	月 日
なし	5袋	1袋		月 日
おうとう	5袋	2袋		月 日

※1 平坦地の杏・梅は、上記基準よりグリーン長野果樹専用有機入り72を1袋減肥する。
杏・梅の山間地で肥料流亡しやすい園は、果樹の力を1袋増肥する。

3. 留意事項

- ①基肥は年間施用量の70%程度として礼肥・追肥等分肥するのが基本です。
- ②樹勢・樹齢・品種・生育状況や土壌検査の結果から施用量は増減する。
- ③堆肥類・微量要素資材は必要量に応じて施用する。
- ④ホウ素欠乏が見られた園はホウ砂の施用を行う（3年に1回、3kg）

《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井西部・信田）：080-1188-5229／外谷（情報担当・篠ノ井東部）：080-8048-6602
松橋（松代）：090-4816-6297／佐藤（川中島）：090-7179-9866
根津（更北）080-1203-8576／松澤（若穂）080-1191-5166
吉澤（全域・編集担当）：090-2543-0365／営農販売部（本所）：292-0930

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）

※センター繁忙期になるため、電話をとれない場合がありますが、ご了承下さい。

伊藤（篠ノ井東部）080-2239-6816／松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部／農業資材課：299-3311